

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ： 1, 699件(前月比 0.5, 前年比 47.2)であり、昨年の12月から増加し、本年の1月がピークとなりましたが、その後は連続的に減少しています。前年比は47.2と著明に増加していますが、今シーズンは1昨年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に推移しており今後は収束していくと推測されます。人吉(54.0)、菊池(39.0)、宇城(24.2)、熊本(22.5)、八代(20.6)が特に多いようです。

小児科定点

(全体傾向)

5, 907件(前月比 0.7, 前年比 1.2)であり、感染性胃腸炎2, 439件とインフルエンザ1, 699件が大きく占めています。前月比はやや減少していますが、前年比は大きな変化はないようです。前月比の減少は、インフルエンザ1, 699件(前月比 0.5, 前年比 47.2)、感染性胃腸炎2, 439件(前月比 0.7, 前年比 0.9)の影響を大きく受けてのものです。流行性耳下腺炎(前月比 0.7, 前年比 1.6)、伝染性紅斑(前月比 0.7, 前年比 1.6)は依然として高い値で推移しています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症： 24件(前月比 0.4, 前年比 0.7)と昨年の12月をピークとして連続して減少しており、例年通り今後は収束していくと推測されます。
2. 咽頭結膜熱： 70件(前月比 0.7, 前年比 1.4)と12月をピークとして1月からは減少傾向を認めています。前年比は1.4であり、昨年よりは多いようです。菊池(4.5)が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎： 216件(前月比 0.7, 前年比 1.1)。1月から連続して増加していましたが、3月をピークとし、4月は再び減少に転じています。菊池(7.0)、熊本(6.9)、八代(6.5)が多いようです。
4. 感染性胃腸炎： 2, 439件(前月比 0.7, 前年比 0.9)でした。1月からは連続して増加し、3月をピークとし、4月は減少に転じています。前年比は0.9であり、例年並のようです。山鹿(124.5)が特に多いようです。
5. 水痘： 519件(前月比 0.9, 前年比 0.9)でした。前月比、前年比も大きな変化はありません。宇城(26.7)、人吉(21.7)、菊池(15.8)が特に多いようです。
6. 手足口病： 51件(前月比 8.5, 前年比 0.2)でした。前年比は0.2と少ない値で推移していますが、前月比8.5と4月は著明に増加しています。例年通り、これから夏期にかけて増加していくと推測されます。天草(6.3)が多いようです。
7. 伝染性紅斑： 95件(前月比 0.7, 前年比 1.6)と依然として、例年よりは高い値で推移していますが、3月からは減少しています。山鹿(6.0)が多いようです。
8. 突発性発しん： 156件(前月比 0.9, 前年比 0.9)。例年と同様に推移しているようです。

9. 百日咳： 1件（前月比 0.3、前年比 0.5）と少ない値で推移しています。
10. ヘルパンギーナ： 60件（前月比 1.6、前年比 0.3）と前月比は増加していますが、昨年よりは少ないようです。例年通り、これから夏期にかけて増加していくと推測されます。天草（13.0）が特に多いようです。
11. 流行性耳下腺炎： 347件（前月比 0.7、前年比 1.6）と前月比は減少していますが、依然として例年より高い値で推移しています。山鹿（14.0）、宇城（11.7）、菊池（11.0）が特に多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数53件（前月比1.3、前年同月0.8）と微増しています。地区別では熊本50件、菊池2件、有明1件の報告です。年齢別では20～39歳で51%を占めていますが、中・高齢層にも散見されます。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症：報告数 56件（前月比 1.4、前年比 1.2）でした。前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、女性が40件と多く見られています。年齢別は、女性は15～29歳に32件と多く、男性では15～49歳に見られています。地区別は、熊本が35件と圧倒的に多く、次いで御船6件、有明5件、八代、宇城に各4件、山鹿、菊池に各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 19件（前月比 1.7、前年比 0.8）でした。前月比は増加していましたが、前年比は減少しています。男女別は、女性が11件と多く見られました。年齢別は、女性で20～70歳、男性でも25～70歳と幅広く見られています。地区別は、熊本が8件と多く、次いで八代6件、宇城4件、御船1件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数は 7件（前月比 0.6、前年比 1.4）でした。前月比では減少していましたが、前年比では増加しています。男女別は、女性に6件と多く見られています。年齢別は、女性で25～34歳に、男性では25～29歳に見られました。地区別は、熊本6件、八代1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数は 14件（前月比 1.8、前年比 0.8）でした。前月比では増加していましたが、前年比では減少しています。男女別は、男性に9件と多く見られています。年齢別は、男性は15～49歳に、女性では1～4歳に1件、20～59歳に見られています。地区別は、熊本6件、次いで有明4件、山鹿2件、菊池、宇城に各1件でした。今回、女性で、乳幼児に1件見られたのは、久しぶりのことです。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数63件（前月比 1.0、前年同月比 0.9）でした。39件（62%）が70歳以上でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数10件（前月比 2.0、前年同月比 5.0）でした。場所は熊本市保健所が7件で前月より5件増えていました。年齢は0歳が2件、1～4歳が3件、5～9歳が1件、70歳以上が4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告はありませんでした。

4. 多剤耐性アシネトバクター感染症：

報告はありませんでした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数1件（前月より +1、前年同月比 0.5）でした。場所は熊本市保健所で、年齢は44～49歳でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数1件（前月比 0.1、前年同月より +1）でした。場所は熊本市保健所で、年齢は5～9歳でした。

3. マイコプラズマ肺炎：

報告数4件（前月比 0.8、前年同月比 1.3）でした。場所は熊本市保健所が3件、有明保健所が1件でした。年齢は1～4歳が1件、5～9歳が2件、10～14歳が1件でした。

4. クラミジア肺炎：報告数2件（前月比 1.0、前年同月比 2.0）でした。場所は熊本市保健所が2件でした。年齢は1～4歳が2件でした。

届け出対象感染症

1類感染症：	報告はありませんでした。
2類感染症：	結核： 32件
3類感染症：	腸管出血性大腸菌感染症： 1件（O26）
4類感染症：	レジオネラ症： 1件
5類感染症（全数把握）：	アメーバ赤痢： 2件
	梅毒： 1件
	風しん： 1件